

あらまし

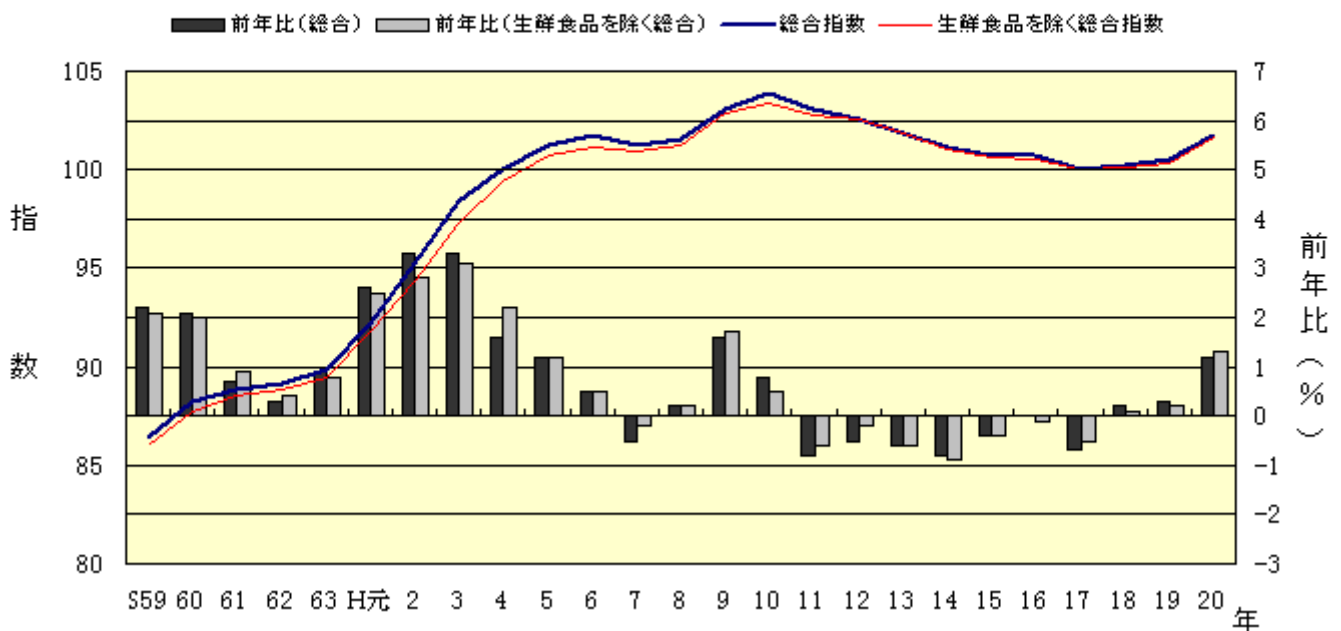
平成 20 年平均の名古屋市消費者物価指数(確報値)は、平成 17 年を 100 とした**総合指数**で 101.7 となり、前年に比べ 1.2%上昇しました。

前年からの主な動きをみると、**外食、菓子類等の値上がりにより食料が、電気代等の値上がりにより光熱・水道が、自動車等関係費等の値上がりにより交通・通信がそれぞれ上昇しました。**

なお、**生鮮食品を除く総合指数**は 101.6 となり、前年に比べ 1.3%上昇しました。

図 1 名古屋市消費者物価指数の推移

平成17年=100



前年からの動き

- **食料**は 103.2 となり、前年に比べ 2.5%の上昇

生鮮魚介は 0.7%の下落 <値下がり>まぐろ、いかなど

生鮮野菜は 0.6%の上昇 <値上がり>ねぎ、にんじんなど

生鮮果物は 8.6%の下落 <値下がり>みかん、いちごなど

外食は 2.4%の上昇 <値上がり>ビール(外食)、すし(回転ずし)など

菓子類は 6.0%の上昇 <値上がり>ケーキ、チョコレートなど

穀類は 6.0%の上昇 <値上がり>食パン、即席めんなど

調理食品は 4.3%の上昇 <値上がり>うなぎかば焼きなど

肉類は 4.1%の上昇 <値上がり>豚肉(もも肉)など

乳卵類は 6.9%の上昇 <値上がり>鶏卵、牛乳(店頭売り)など

- **住居**は 101.2 となり、前年に比べ 0.4%の下落

設備修繕・維持は 1.8%の下落 <値下がり>火災保険料など

- **光熱・水道**は 108.0 となり、前年に比べ 4.1%の上昇

電気代は 4.6%の上昇 <値上がり>電気代

他の光熱は 27.5%の上昇 <値上がり>灯油

ガス代は 3.3%の上昇 <値上がり>都市ガス代など

- **被服及び履物**は 100.7 となり、前年に比べ 1.0%の下落

衣料は 1.2%の下落 <値下がり>婦人コートなど

- **交通・通信**は 101.6 となり、前年に比べ 1.8%の上昇

自動車等関係費は 2.8%の上昇 <値上がり>ガソリンなど

交通は 1.2%の上昇 <値上がり>タクシー代など

- **教養娯楽**は 96.8 となり、前年に比べ 0.3%の下落

教養娯楽用耐久財は 17.4%の下落 <値下がり>パソコン(ノート型)、テレビ(薄型)など

教養娯楽サービスは 1.8%の上昇 <値上がり>外国パック旅行など

- **諸雑費**は 102.7 となり、前年に比べ 1.4%の上昇

他の諸雑費は 1.1%の上昇 <値上がり>保育所保育料など

身の回り用品は 1.8%の上昇 <値上がり>ハンドバッグ(輸入品)など

表 1 10 大費目の前年比及び寄与度

	前年比(%)		寄与度	
	19年	20年	19年	20年
総合	0.3	1.2	0.30	1.20
生鮮食品を除く総合	0.2	1.3	0.19	1.24
食料	0.3	2.5	0.08	0.67
生鮮食品	0.5	△ 2.1	0.02	△ 0.09
住居	0.5	△ 0.4	0.09	△ 0.08
光熱・水道	1.1	4.1	0.07	0.28
家具・家事用品	△ 1.1	0.1	△ 0.03	0.00
被服及び履物	2.3	△ 1.0	0.11	△ 0.05
保健医療	0.9	△ 0.9	0.04	△ 0.04
交通・通信	△ 0.4	1.8	△ 0.05	0.24
教育	1.0	0.6	0.04	0.03
教養娯楽	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.11	△ 0.03
諸雑費	1.0	1.4	0.06	0.08

利用上の注意

1 年平均確報値について

この年平均確報値は、平成 20 年 1 月から 12 月の各月の指数値を用いて、総務省統計局が集計(財・サービス分類指数は除く)したものです。

2 指数について

1. 指数の基準時及びウエイトの算定期間は、平成 17 年の 1 年間です。
2. 指数の算式は、基準時加重相対法算式(ラスパイレズ型)によります。
3. その他詳しくは総務省統計局公表資料をご覧ください。